

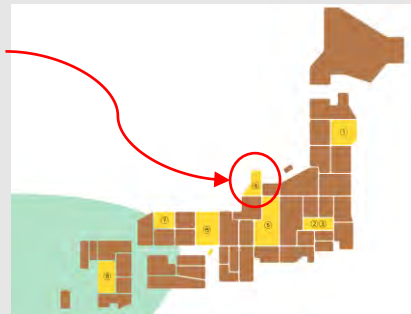
鳥獣被害対策アドベンチャー フィールドワーク開催報告

フィールドワーク開催エリアのうち、
東北 関東 東海
北陸 近畿 中国四国 九州

日時 令和5年12月9日～10日(2日間)

場所 石川県穴水町

受入先 合同会社狩女の会
<https://www.craftworkser.com/>



受入先(合同会社狩女の会)QRコード

参加者の声

・ジビエ料理を頂いてその後数日とても精力的に体が動きました。将来的にジビエが手に入れられるようなポジションで生活ができるようになればと思います。知識を増やしようという立場になるかわかりませんが、免許を取り狩猟の世界のどこかに自分にあった場所がないかを探してみたいと思いました。

・女性でもフィールドで活動されていることを見てハードルが少し下がるのを感じました。また、いきなりフィールドに出なくても、ジビエ料理や革細工など関わり方が他にもあることを知れたので、狩猟に対して少しずつ関わっていきたいと思いました。

フィールドワークスケジュール

DAY1 12/9(土)

座学研修

11:00～12:00

受け入れ先拠点・民泊施設で地域の被害状況と利活用、狩猟を行う上での注意点などのガイダンスを受講しました。



解体処理施設見学

13:00～14:00

運送用コンテナを改装した「里山食品」オリジナルの施設を見学し、食肉処理手順の解説を受講しました。



フィールド散策

14:00～16:00

狩猟もしている地元米農家の山や地元狩猟の方の現場で箱罠を見学しました。なお、正しい箱罠の知識に関する説明を受けた後、米ぬか撒き体験も行いました。



DAY2 12/10(日)

体験研修

8:00～9:00

猪革を使用した革細工作成体験を行いました。



意見交換会

9:00～12:00

受入先がファシリテーターになり、ゲストを交えてディスカッション形式の座談会を行いました。参加者それぞれのフィールドで行えるスタイルをアドバイスする時間となりました。

